

# 令和5年度 授業改善推進プラン全体計画

多摩市立瓜生小学校

◆児童に身に付けさせる資質・能力を育成するために、以下の4点を軸にして授業改善を行う。

## 1 授業形態や指導方法の工夫

- ・「めあてと見通し」「自力解決と学び合い」「まとめと振り返り」を踏まえた授業を行う。
- ・1単位時間のねらいを示し、授業の終末に、めあてに正対したまとめと各教科の見方・考え方に沿った振り返りを行う。
- ・問題解決の流れを明確にした学習活動を計画する。
- ・東京ベーシック・ドリルを活用して、単元で活用する基礎的な知識・技能の定着度を把握し、児童の実態を踏まえて繰り返し指導する。
- ・算数では、学習内容の習熟度に応じた少人数指導を実施し、基礎・基本の定着・伸長を図る。
- ・話し合い・観察・実験など、発達段階や目的に応じて学習活動を行う。
- ・発表の機会や児童同士の学び合いの場を設定し、言語活動の充実を図る。

## 2 朝の時間の効果的な活用

- ・時間 8:30～8:40 10分間
- ・形式 読書活動、漢字練習、計算練習など
- ・ねらい 読書…心情豊かな人間性の育成、語句の習得、集中力・表現力の向上 漢字・計算…基礎学力の定着
- ・算数タイム 毎週火曜日は算数の時間とし、学級の実態に合わせて既習事項の復習を行う。

## 3 豊かな人間関係の構築

- ・たてわり班による異学年交流活動を通して、自分の考えを伸び伸びと表出できる環境をつくる。

## 4 家庭・地域との連携

- ・地域未来塾への積極的な参加を促し、当該学年または前学年の復習を行う。
- ・夏季休業期間中に、全児童を対象にした個人面談を実施し、4月から7月までの児童の学習の成果と課題について担任と保護者で共通理解を図る。
- ・学習に集中できるよう、生活習慣（朝食、早寝早起き、前日の持ち物の確認）の確立について家庭に協力を依頼する。特に、一定の学習時間の確保や宿題等への保護者の関わりにおいて、家庭と連携して家庭学習を充実させる。
- ・高学年（4,5,6年）では、家庭での自主学習の機会を設定し、自分に必要な学習や自分の興味・関心のある事柄の調べ学習などに取り組むよう促す。